

# 平成28年度宮崎県立図書館評価の概要

平成29年10月30日  
宮崎県立図書館

## 1 趣旨

図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日文科科学省告示第172号）に基づき、宮崎県立図書館のサービスの水準の向上を図り、図書館の目的及び社会的使命を達成するため、取組状況について評価を行うものである。

## 2 評価対象

「平成28年度宮崎県立図書館運営方針等について」に規定する6つの目標に係る取組の実績。

## 3 評価項目等

- (1) 「平成28年度宮崎県立図書館運営方針等について」に規定する目標を図書館評価の目標（6項目）に設定し、それぞれの目標を達成するために必要な取組を評価項目（13項目）として設定。
- (2) 各評価項目ごとに今後の数値目標を入れた評価指標（数値目標）を設定。
- (3) 評価項目及び評価指標における目標最終年度については、平成29年度に策定予定である「宮崎県立図書館ビジョン」に基づくアクションプランの最終年度を平成32年度とする考えであることから、評価の目標最終年度も、これに合わせて平成32年度とする。

## 4 評価方法

### (1) 自己評価（評価項目ごと：13）

当館において、13の評価項目ごとに平成28年度の事業実績を踏まえて自己評価を行い、主な取組状況・成果、課題等を付記した。

### (2) 外部評価（目標ごと：6）

宮崎県立図書館協議会において、上記(1)の自己評価を参考に、6つの目標ごとに評価を行い、今後の取組等に関する意見を付記した。

## 5 評価基準

自己評価、外部評価とも、4段階で評価した。

評価	評価基準の内容	
A	非常に良好である	取組や活動が非常に優れ、成果が出ている。
B	良好である	取組や活動が良好で目標が達成されており、一定の成果が出ている。
C	やや不十分である	取組や活動がやや不十分で改善すべきところがあり、さらなる成果が求められる。
D	不十分である	取組や活動、成果が不十分であり、計画の見直し・改善が必要である。

## 6 評価結果

### (1) 評価結果一覧

目 標	評 価 項 目	自己評価	外部評価
1 県の情報拠点としての図書館	県下全域での図書館サービスの推進	C	C
	県立図書館としての多様な資料の収集・保存	B	
	情報拠点としての広範な情報の発信	A	
2 図書館のための図書館	職員（県、市町村）の資質向上のための研修・支援等	B	B
	市町村等への資料提供・流通支援	C	
3 豊かな暮らしに役立つ図書館	県民の豊かな生活の実現のための各種講座、視聴覚事業の推進	B	B
	遠隔地をはじめ読書環境の十分でない方への図書配送等	C	
4 県民や地域の課題解決を支援する図書館	レファレンスサービスの充実	B	B
	各種相談・専門機関との連携推進	B	
5 郷土の文化を大切にする図書館	郷土資料の充実・活用	B	B
	県民が言語文化に親しむ機会の提供	B	
6 成長・発展する図書館	職員の資質向上のための研修・情報収集	B	B
	図書館サービスの点検・評価を踏まえた業務改善への取組	B	

## (2) 外部評価に係る意見（主なもの）

### 【県の情報拠点としての図書館】

- マイラインサービスは全県的な読書振興のため今後も継続する必要がある。  
なお、毎日発送を開始したにもかかわらず利用実績の伸び率が低いので、継続的・効果的な周知に取り組んでほしい。
- 読書振興のため、読書の意義や大切さを訴えかける取組や図書館利用の少ない世代の人々への対策が必要である。
- 県立図書館の役割として、市町村立図書館（室）では購入しにくい専門書の充実を図る必要がある。
- ギャラリー展については発信力の向上が課題であり、展示に当たっての工夫が必要である。

### 【図書館のための図書館】

- 図書館職員の資質向上を図る上で研修や司書資格取得の取組などは非常に重要である。県立図書館には、市町村立図書館（室）に対する支援の充実を図るため、中長期的な人材育成を含め、「図書館のための図書館」としての機能強化を求めたい。
- マイラインサービスは全県的な読書振興のため今後も継続する必要がある。  
なお、毎日発送を開始したにもかかわらず利用実績の伸び率が低いので、継続的・効果的な周知に取り組んでほしい。（再掲）

### 【豊かな暮らしに役立つ図書館】

- 語り部となられた方々には、平成32年度に本県で開催される国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭で活躍してほしい。
- 各種講座については、今後更なる充実に努めてほしい。
- 障がい者サービスの利用促進のために、市町村立図書館（室）との連携を強化するとともに、継続的・効果的に周知に取り組んでほしい。

### 【県民や地域の課題解決を支援する図書館】

- レファレンス機能の更なる充実・向上に努めてほしい。
- レファレンスに携わる職員の資質向上のため、研修会の充実にさらに努めてほしい。

### 【郷土の文化を大切に作る図書館】

- 郷土資料のデジタル化は、長期的にも全国的にも大きな意義があるので、積極的に推進してほしい。
- 牧水の出身県にふさわしい短歌に関する資料など、本県の特徴を生かした収集に努めてほしい。
- 県立図書館に来れば本県の歴史は調べられる！という方針で今後も収集に当たってほしい。
- 今まで本県の言語文化に関心を持っていなかった人々へのアピールも必要である。
- 親子を対象とした講座や、県民の関心に応える講座を実施してほしい。

### 【成長・発展する図書館】

- 図書館ビジョンには、職員の資質向上に向けた10年先を見通した人材育成を入れ込んでほしい。そしてそのためのアクションプランの作成をお願いしたい。
- 中長期的視点で専門的人材を育成してほしい。